



発行日 H29年1月14日
 発行者 広島市議会議員
 くわた 恭子
 〒731-5153 佐伯区河内南2-30-2
 TEL929-2930 FAX929-2928
 OPEN 9時~17時(月~金)

地域の皆様、おけまして、おめでとうございます。
 おたやが新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 12月議会(12/5~12/15)が終了いたしましたのでご報告いたします。
 今年は、議会にもとより2年目の正月、折り返しの年です
 今回の一般質問には加えませんでした。ボーナスの加算廃止や議員の
 費用弁償の廃止、総務委員会ではサッカースタジアムの検討など取り組めます。



夕張市で財政 再建の研修

11月9日、財政破綻した夕張市で財政再建の研修会がありましたので参加してまいりました。8時間かけて到着した夕張市は、11月初旬なのに真っ白な銀世界！高速バスを降りたのは終点の巨大リゾートホテルの前、休業中でした。雪に押しつぶされた空き家や、倒産したレジャー施設がそのままに放置され、破たんを感じますが、財政破たんから10年が経過しました。コンパクトシティづくりなど新たな取組も動いています。財政再建の研修会は、時間も短く実は物足りないものだったのですが、破たん直後の事業の削減について、道庁の職員が乗り込み「これが無くても死なないっぺ」と言って容赦なく事業を切り捨て、全く口をはさむことはできなかつたと話していました。一般職員の処遇についてはすさまじいものです。269人の職員数を4年間で166人削減。平均年収640万円を400万円に、市長は862万円の年収が259万円に減額、他の特別職も年収は200万円台、退職金は当分の間未支給とされました。平成27年3月に「財政再生計画」に変更、給与・ボーナスの削減幅を縮小、削減は現在も継続中！人件費の削減なくして、財政再建はできませんが、その厳しさ、すごさを感じました。写真は昨年8月、平和学習で広島に招待した夕張中学の2人です。せっかくでしたので学校を訪問いたしました。17校を統合して建設した夕張中学は立派な建物でした。2人に受験する高校は決めた？と聞くと「夕張高校にしました」と答えました。地元の高校を選んだことに希望を感じました。



広島市職員自殺は「過労」 12月22日の新聞のタイトルです 電通と同様のことが起きていた

平成28年3月、予算特別委員会の答弁で、月200時間を超えて時間外労働を行う職員の存在を知りました。平成28年10月の決算特別委員会で、その人数が平成27年度で8人であったことがわかりました。

年度	一般会計時間外手当(千円)					
	22	23	24	25	26	27
予算	26.4	26.1	26.2	26.1	27.1	27.1
決算	34.5	33.9	36.3	39.1	40.4	41.2

1人当たり平均時間単価2875円

- Q 今回の一般質問でも再度質問しました。
 電通の新入社員が長時間労働により自殺した事が報じられ注目される。電通の事件は、他山の火事ではない、リスクは多分にある。事件後、電通も東京都も、時間外勤務削減を目指し、一斉消灯を実施している。広島市も行ってはどうかと問いました。
- A 職員の健康管理面からも時間外削減は重要。課長の研修や効率的な業務の進め方、21時22時には退庁を促す放送を流すなど対策を行っている時間外勤務の強制的な削減は、本来の業務遂行に支障を生じかねず着実に進めることが肝要と答弁しました

時間外勤務者数の状況

年度	月平均80時間以上	内月平均100時間以上
	23	88人
24	93人	24人
25	117人	41人
26	71人	13人
27	55人	16人

災害、選挙の時間外は除く

結局、現在行っている削減方法で良いと答弁しました。電通の女子社員自殺が、一昨年のクリスマス。その2ヶ月前、広島市でも10月に女子職員が自殺。遺族が公務災害認定を市に請求したと報道された。記録では、月100時間以上の時間外勤務が半年以上続いていた。質問の時には、市内に過労の自殺者がないことを市は承知してはいますが、答弁に危機感はありません。冗談で全庁の消灯を提案した訳ではない。今後の対策では効果が悪いのでやってみてはどうかと聞いたのです。12月の報道に「時間外削減強化も全庁指示」とある。質問より報道の方が効果があるのか！真剣に業務の見直しを急ぐべき！

4月 石内北小学校開校

佐伯区で23年ぶり19校目

石内、神原の枝垂れ桜の細い道を抜けると西風新都が開ける。西風新都石内側に石内北地区開発、平成29年4月、石内北小学校が開校、昨年12月議会で、学校条例の一部改正が可決されました。開校時の規模は176人7学級、ピークは平成38年の739人26学級を見込む。現在の校舎は、平成32年の16学級まで対応するとしその後は、状況を見て対応を検討するとの説明でした。中学校については、区を超えて安佐南区の大塚中学校に通学する



平成28年10月の石内北地区の世帯数約370世帯。小学校建設により学区ができる。町内会作りの話し合いもあると聞く。住民は若い現役世代、地域づくりの作業は大変な上、住所は佐伯区だが、生活圏は安佐南という難しさもあるのではと思う。行政や社会福祉協議会なども応援して新しい学区を作ってもらいたい。

写真は平成28年9月末現在、大きな校舎だと思い担当課に聞くと従来の渡り廊下で校舎をつなぐのではなく口の字型に校舎を配置しているので大きく見えるだけですよとの事、最新の技術で良い学び舎ができることを期待する。

アストラムライン貸付金完済は56年後

アストラムラインは平成6年8月、総工費約1744億円を投じアジア大会前に開業しました。事業費の大半が借入金であった事。利用者の見積もりを1日約7万人と試算、実際は2万人少ない5万人前後で推移した事など、厳しい経営であった。平成16年度、国・市からの地下鉄整備補助金が終了、平成17年度から債務超過となる。平成15年3月、経営健全化計画を作成、徹底した経費の削減と長期借入金の一括繰上償還を柱としたもので、議会も認めました。



写真は開発の遅れている石内東地区です。遅くとも平成28年末にはイオンモールが来店予定だったが平成30年春に開店予定の申請が出されている。アストラムライン貸付金の延期は、平成30年度後半に開業するアストラムラインの延伸計画による利用者の増加が大前提。広域公園前から写真の地域を経由し己斐駅に単線です。総工費は570億円、完成予定の平成40年代初からの純利益は年間1億2千万円・・・

10年が経過、見直しの「今後の経営展開/経営改善計画」を策定
● 市からの長期借入金159億の返済期限が平成36年度だが5億円返済の暫定措置が平成28年で終了、その後の返済が困難更に平成31年から13年間の車両更新でさらに厳しい収支になる

一般質問で「56年先まで利用者は今のまま減少することはないのか」と聞きました本市の人口動向が利用者数にどう影響するか見通すことは困難なので5年ごとに見直しを行うと答弁。無責任な答弁に聞こえた延伸は、甘い計画、単線で利用者は増えない

長期借入金（有利子/159億円）
返済完了時期の平成36年度を平成26年度に26年間延期
平成29年度から平成41年度は、年1億円を返済
平成42年度から平成62年度は、年8億円を返済
単年度借入金（無利子/155億円）
長期借入金返済まで、これまで同様毎年度155億円据え置き
平成63年から平成76年度は、年5億円を返済
平成77年から平成84年度は、年9億円を返済
当面、広島市からの持ち出しはない計画ですが、完済は実に56年後、だれも確認できません

急に決まった政務活動費領収書の公開

平成28年度分を今年6月末に市議会ホームページで公開

12議会の最中、各派幹事長会議において政務活動費領収書を市議会ホームページで公開することに改めた。各議員の領収書について個人の名前や住所はを黒く塗った領収書の写しをデータ化し、毎年6月末に、前年度分ををまとめて公開するとの事、議長の提案に反対する会派は無かったようだ。領収書の全面公開はこれまでも求めてきたので、結果には満足だが、昨年議会改革推進会議で領収書公開について検討してきたが「現行のままで良い」と

する会派もありまとまらなかった経緯もある。富山市をはじめとする、政務活動費の不正受給が全国で発生。内部の話し合いより、他都市の事件の方が危機感をあおったという事なのか。広島市でも昨年3月、事務員の人件費を不正に受給したとして、市民から告発され受理されたケースがある。書類など警察が持ち帰ったがそれ以降は何もない。どうなっているのか。

☞..... 皆様の意見を聞かせたい..... ☜ (この通信は会派の了承を得て発行いたします)